

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
令和3年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時 令和3年11月22日(月) 15時00分から16時00分
2. 開催場所 Web会議
3. 出席者 理事総数 12名
出席理事 6名
理事長 細谷龍平
理事 開発 毅, 春日野道治, 鞍谷文保, 黒原繁夫, 吉村直樹
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 堂 裕司, 馬來田善準
陪席者 2名
増田丁也, 山田 聡(福井青年会議所)

4. 議 題

(1) 審議事項

第1号議案 グリフィスの来福150周年事業の現状

第2号議案 基金の今後の在り方について

(2) 報告事項 資産運用について

5. 定足数の確認

理事総数12名中6名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

(1) 審議事項

第1号議案 グリフィスの来福150周年事業の現状

理事長から、「福井で見るサンタの夢2021」の次の各行事について説明した。①白山登山, ②小学生似顔絵コンテスト, ③西武百貨店と連携したクリスマスケーキの予約販売, 幼稚園児と福井大生とのクリスマス会, 合唱会, ④福井駅からグリフィス記念館までのスタンプラリー, ⑤記念館イルミネーション(福井市主催「ふくあかり」関連行事), ⑥福井大学公開講座「グリフィスの福井～その真実～」, ⑦福井大生による児童養護施設訪問, ⑧記念館でのクリスマス当日の行事(グリフィス童話朗読会, 似顔絵コンテスト表彰式, クリスマスキャロル合唱会), ⑨オンライン国際会議「グリフィスの福井～その真理～」。

審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 基金の今後の在り方について

理事長から、基金の今後の存続の在り方についての現時点での考え方を概略次のとおり述べた。当基金は、上記の周年事業による一時的な収益や認知度の一定の向上を踏まえてもなお、十分な安定的収入の基盤ができる見通しはなく、このままでは今後中長期には基本的に立ち行かないと考えている。その主な要因は資金面と人手面にある。資金面については、今までの平年では毎年助成金約300万円、運営管理費約200万円で計約500万円支出してきているのに対して、収入は、財産の運用益は100万円不足、昨年と今年の150周年キャンペーンでの各種募金(クラウドファンディングを含む)と他団体からの助成金などを合わせて年50万円弱であり、これらは繰り返せないものも多い。引き続き今までのペースで財産を切り崩していくと、約6年後には財産は

1億6千万円にまで減り、行政（福井県と福井市）からいただいている各4,000万円の出捐金が全体の25%を超えるいわばイエローライン（連結決算、公的監査）に達することとなる。2年前に直営事業を行えるよう定款の改正を承認してもらったのを受けて、現在は上述のとおり150周年キャンペーンを、福井大学の授業とも連動させ学生の力を借りて展開してはいる。しかし、今後もこれらの事業を継続して定着させ、また本格的な募金活動を行うためには、本来的な人手面での制約も大きい。

そこで、当面の方針として次のように考えている。

今年度の事業の結果は来年3月の理事会で総括し、今後5年を目処とする中期的な経営方針を、県と市ともご相談しつつ取りまとめて、6月の評議員会に諮ることにしたい。

まず全体に支出を削減する。助成事業は、効率性が高く、オンラインの国際交流と、日下部とグリフィス両名の認知度向上に具体的に繋がるものに絞っていききたい。直営の顕彰事業は、効率に留意し、他団体や企業との連携を通じた収益も模索しつつ注力して行きたい。広報啓発活動には引き続き最大限努めていく（来年度はグリフィスに関する本の出版も検討している）。

これに対して、出席した各理事より概ね賛意が表明されるとともに、種々のアイデアが述べられ、活発な意見交換を行なった。

議長より、各理事の提案も踏まえて基金の今後の在り方をさらに検討し、3月の理事会で改めて諮りたいとした。

全員異議なくこれを承認した。

(2) 報告事項

・資産運用について

事務局から、令和3年7月21日に満期償還となった第100回共同発行市場公募地方債70,000,000円を福井銀行定期預金35,700,000円と合算、SMBC日興証券株式会社から東京電力パワーグリッド株式会社第47回社債（一般担保付）を額面100,000,000円で購入し、残額5,700,000円は福井銀行普通預金に預け入れ、運転資金に充当した旨報告があった。また、令和3年9月21日に利付国庫債券（10年）第317回5,000,000円も満期償還を迎え、福井銀行定期預金に全額預け入れた旨についても報告があった。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事長及び監事は、次のとおり記名押印する。

令和3年11月22日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事（理事長） 細 谷 龍 平 印

監 事 堂 裕 司 印

監 事 馬 來 田 善 準 印